

いまみや

★2016年1月16・17日センター試験★★★

■センター試験応援!!

センター試験の前にPTA 3年実行委員が、手書きのメッセージを添え、応援グッズの袋詰め作業を行いました。生徒達には、1月13日の直前説明会で手渡されました。



▲応援お菓子セットはカイロ入り

センター試験当日は、130名余りの3年生が6大学に分かれて受験。各試験会場の入口や最寄りの駅前では今宮高校の先生から直接声をかけていただき、緊張の中「ホッ!」とした表情で、会場に向かっていきました。



▲緊張をほぐすハイタッチ!

★英検校内受験★★★

1月22日(金)に2年生が「英検校内受験」にチャレンジしました。校内での一斉受験は、今年初めての試みです。筆記にヒアリングとみんな頑張っていました。

★模試の実施★★★

1月31日(日)に、1年生が校内で進研模試を、2年生が学外で河合塾の模試を受けました。来る受験に向けて、頑張れいまみや!

★百人一首大会★★★

12月21日(月)に1年生の、22日(火)に2年生の百人一首大会が自治会の主催で行われました。放送部員が和歌の詠みを担当し、チーム対抗で白熱した戦いが繰り広げられました。どんなことも全力で楽しむ今宮の生徒達(いまみやん)。1年生は1組の、2年生は3組の優勝で大会は幕を閉じました。



▲真剣に取り組むいまみやん

★ホストファミリー体験談★★★

今宮高校では、様々な国の留学生を受け入れています。本年度、2015年9月25日から30日まで、オーストラリア・ケアンズからの留学生のホストファミリーを引き受けた方から感想をいただきました。

家族の誰も英語が話せないにもかかわらず、母の独断で受け入れ決定。お迎えの日、留学生のオリバーも「誰もしゃべれないの!？」とびっくりした様子でした。
長嶋スパーランドや奈良に行き家族交流を深め、串カツパーティー、お好み焼きパーティーと、にぎやかに楽しく過ごしました。満員電車、けん玉、湯船につかる等、初めての体験にも次々とチャレンジしてくれて、言葉が通じない時は身ぶり手振りも加えつつ、なんとか楽しく過ごしてもらえたかなと思います。
とても礼儀正しく、部屋もきれいに使ってくれて、何でも美味しいと食べてくれて、そして何より笑顔が素敵なオリバーでした。オリバーが来てくれたことで、素敵な経験ができたし、家の中が久しぶりににぎやかになって、受け入れたこと、本当に良かったと思っています。



◎今宮高校では留学生を引き受けてくださるホストファミリーを毎年募集しています

お知らせネット

- ダンス部
1月6日(水) あべのハルカスにてダンスパフォーマンスのイベントに出演
- バスケット部
男子は私立の強豪校大体大浪商に接戦の末、勝利し女子は和泉高校に圧勝で、ともに公式戦初戦突破
- サッカー部
1月23日(土) 高円宮杯U-18リーグ戦にて南大阪ブロック初戦勝利
詳しくは本校ホームページをご覧ください。

編集後記

18期生の皆様、ご卒業おめでとうございます。高校生活の3年間の様々な経験が今後の大きな糧となることでしょう。これからの皆様の未来に幸多かれとお祈りいたします。今年度の広報委員会に対し、教職員の皆様、保護者の皆様、そしていまみやんの皆様のご協力のおかげで無事1年を終えることができました。ありがとうございました。

広報委員一同

「10年後の自分をイメージして」

校長 境田 優二

総合学科18期生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましては、これまでのご苦勞に敬意を表するとともに、お子さまのご卒業を心よりお喜び申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、人生の公式戦が近づいてきました。将来、人生の分かれ道で、迷い悩むこともあると思います。友達、保護者や恩師に相談することも大切ですが、最後は自分で決めて進まないといけません。そんなとき、10年後に自分はなんていたいかを考え、それに向かって進んで欲しい。「10年後の自分をイメージして」、人生を歩んで欲しいと思います。

歩むと言っても自分のペースでいいと思います。人を羨む必要もありません。また自信が持てない自分を恥じることもありません。焦らず、自分の歩幅で、自分のペースで、ときには休み、そして勇気を持って一歩前に進んでみてください。最初うまくいかなくても、知らなくても構わない。進みつつ何度でも試みればいいし、知らなければ調べればいい。高校三年生の部活の最後の公式戦は一度だけですが、人生の公式戦は何度でも作ることができるのだから。

皆さんは今宮高校で多くのことを学び身につけました。基礎学力はもちろんですが、多様性を大事にする心、考える力、まとめる力、そしてなにより多くのイベントを通じて体得した伝える力・表現力を持っています。これらの力を携えて、焦らずに10年後の自分をめざして巣立ってください。

3年間、今宮高校を盛り上げてくれてありがとう。皆さんが積み増してくれた伝統は、在校生がきっと発展させてくれると思います。



「一期一会」

PTA会長 鳥津 刈野

総合学科18期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましては、お子さまのご卒業を心よりお慶び申し上げます。そして、これまで暖かく見守っていただき、時には厳しくご指導して下さった先生方や職員の皆様に心より御礼申し上げます。

今宮高校での3年間、皆さんはきっと多くのことを学び、体験してきたと思います。友人や先生方と共に、充実した時間を過ごされたのではないのでしょうか。勉強、部活、様々な行事で、達成感と挫折感を味わいながら、ひとまわりもふたまわりも成長されたことと思います。

明日からのそれぞれの道では、今宮高校で学んだ自主自立を活かし、いろいろなことに挑戦してほしいと思います。楽しいこと、嬉しいことがある反面、辛いこと、苦しいことがあるかもしれません。でも、失敗を恐れずに、前に進んでいくことを願っています。

私の好きな言葉「一期一会」は茶道に由来することわざです。どの茶会でも一生一度のものとして心得て、主客ともに誠意を尽くすべきこと。広く、人と人との出会いは一度限りの大切なものという意味で用いられています。もう一つ、毎日顔を合わせる友人や家族や仕事仲間であっても、言葉をお交すのは一瞬であるということ。相手を思いやり、出逢ったことに感謝しなさいという意味もあります。

私たちは常にたくさんの人に支えられて生きています。困った時に助け合ったり、励ましあったり、時にはケンカをする仲間たちがいるからこそ、生きていけるのです。皆さんも自分の周りの人たちに感謝の気持ちを忘れずに、そして新たな出会いを大切にしてください。



終わりは始まり ゆいり急下

網 天真 書

第18期生卒業おめでとう

臆せず行動を

1組担任 中務 誠

みなさんはこれまでの約18年の人生で後悔がありますか。私の38年の人生にはいくつもの後悔があります。しかし、そのいずれの後悔も、結果としての失敗に対してではなく、こうしてればどうなっていたら、というような自分自身の考えの不足や、行動を躊躇したことに對してです。年齢を重ねたときにおこる若い頃の自分への後悔は、「失敗をしたこと」に対してではなく、「やらなかったこと」に対しておきます。

これからの長い人生で、みなさんができるだけ後悔をせずに生きていくには、先のことや周囲の状況をしっかり考えることと、考えた末に良かれと思ったことについては、失敗を怖がらずにやってみることだと思います。特に、みなさんにとってのこの先数年は、失敗が許される年代です。この時期を無駄にせず、しっかりと考え、行動し、多くのチャレンジと経験をしてください。そして、いつかみなさんと大人になって出会ったときに、さらに成長した姿を見せてもらうことを楽しみにしています。卒業おめでとう。



卒業おめでとうございます

3組担任 金 雅耶

3年間長かったです。短いようでいて、やはり長い3年間でした。はじめの担任として受け持った学年。ときに可愛く、ときに憎らしく、みなさんを見守り続けてきました。今宮高校での生活はどうでしたか？「めちゃくちゃ楽しかった！」と自信を持って言える人もいれば、「全然楽しくなかった！」と感じている人もいますでしょう。どちらが正しいというわけではありません。

人というのはそんなものです。自身が見て、聞き、学び、考え、感じることは、他の人と違って当たり前です。それが「個性」です。みなさんはまだ18歳。その「個性」はこれからいかに変化していきます。その変化を、楽しむか楽しまないかは自分次第。私としてはぜひ後者になってほしいと思います。みなさんがこの先どのような変化を遂げるのか、どのような人生を送るのか、私の想像をはるかに超えるものですが、それぞれが、それぞれなりの充実した人生を歩んでいることを願います。

人生の主人公になろう

3学年主任 桜本 哲也

18期生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんは3年間で多くのことを学んだと思いますが、中でも特に大切なことは「主体的に選択する」ということです。皆さんは、これまで総合学科の今宮高校で学ぶ中で、選択をしなればならない場面がたくさんあったと思いますが、どのような態度で選択してきたでしょうか。自分の考えを持たずに、ただ周囲に合わせるのではなく、かといって周囲の意見に耳を貸さず独断で決めるのでもなく、いろいろな人に相談をしたり、資料を調べたりした上で、最終的には自分で決断したと思います。ですから、仮にうまくいかなかったとしても、誰かのせいにするとはできません。結果は自分で引き受けるしかありません。こうしたことが「主体的に選択する」ということなのです。常に「主体的な選択」をし続けて行くことによって初めて、真に自分の人生を生きることができ、自分の人生の主人公になれるのです。これからの皆さんの活躍を期待しています。



沢山笑った3年間でした！

2組担任 木田 千晶

3年前の4月、入学式が終わって体育館から教室へと向かう途中で、3年後にまたこの場で今度は卒業式を迎えるんだ、18期生の皆と一緒に卒業式を迎えるまで私も全力で頑張るんだ、そう考えていたことを思い出します。教員になって2年目、まだまだ経験も浅く、見た目も中身も生徒達に紛れてしまうような私は、担任としてどのように皆さんと向き合っていけば良いのだろうかと常に模索していたように思います。力んでいた私の肩の力を抜かせてくれたのは、他でもない18期生の皆さんでした。この3年間、私自身も大変だったことや悩んだことも沢山あるはずなのに、振り返ると皆と一緒にいっばい笑った、そんな思い出ばかりが脳裏に焼き付いています。先生とは「先を生きる」と書きますが、皆さんよりも少しだけ先を生きてきた先輩として、私は何かを残すことができただけでしょうか？むしろ、私の方が皆さんの笑顔に何度も助けられていたように思います。今後の人生も、その笑顔と明るさを忘れずに歩いていくと欲しいと願います。卒業おめでとう！



はばたけ卒業生！在校生奮起せよ！

2学年主任 小山 秀樹

18期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。今宮の学びを基礎に、今後ますます発展、飛躍されるよう期待します。19期生は現代文で「こころ」を学習しています。その記述から、卒業生、在校生のみなさんにエールを送りたいと思います。1「ただ真面目なんです。真面目に人生から教訓を受けたいのです。」(上32)

みなさんが今宮高校に入学したときの期待は、この表現に近かったら違いありません。合格者説明会でのみなさんの緊張した態度からは、今宮高校での生活に対する希望がひしひしと感じられました。そんなみなさんは、どんな、高校生活を送ったのでしょうか？2「私はひとを信じないところに誓いながら、絶対にお嬢さんを信じていたのですから。それでいて、私を信じている奥さんを奇異に思ったのですから。」(下15)

今宮高校での新しい人間関係は、みなさんをとまどわせたりしたかもしれません。でもそれは、精神的な成長の準備となったでしょう。友達をつくるのが、新しい自分をつくることにつながりましたか？

3「精神的に向上心のないものは、馬鹿だ。」(下30)

必死に、懸命に取り組んでいますか？「勉強にし過ぎなし！」中途半端さは、何も生み出しません。勉強もクラブも同じです。なぜなら、どちらも変化や成長と関わる契機となるからです。

4「記憶して下さい。私はこんな風にして生きてきたのです。」(下55)

どんなことにも懸命に取り組みましょう。自信を持ってこんなことばが言えるように。みなさんの奮闘を期待しています。

三つのチカラ

4組担任 松川 晶子

音楽でよい演奏をするためには、三つの「かん」が必要です。ひとつめは「観察する力」。目の前の楽譜に書かれた情報をよく観察し読み取って、曲全体がどのような流れで進んでいるのかをまっすぐかむ力です。



ふたつめは「考える力」。

その音楽を自分の楽器や声で演奏するにはどう練習が必要か、作曲者の表現したいことは何なのか、を深く考え想像する力です。

みつめは「感じる力」。最後は、自分はその曲について何をを感じるか、喜怒哀楽あるいはそれ以外の言葉にならない感情が、自分の中に湧き上がるイメージを豊かに膨らませる力です。

どうでしょう。観察する、考える、感じる、この三つの「かん」は音楽の世界以外でも大切だと思いませんか？心豊かに生きていくために、充実した日々を過ごすために必要なのは知識だけではありません。十八期生の皆さん、あなたたちの人生はこれからです。自分の「感性」を磨きましょ。もっともっと！



新しい伝統を築く

1学年主任 昌井 浩

18期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。20期生(1年生)を代表して、お祝いのメッセージを贈らせていただきます。昨春入学した1年生は部活動や自治会活動などでの皆さんの活躍を見て、きっと「すごいなあ、まぶしいなあ」と感じたと思います。そして、いっしょに活動する中で、「こうしたらいいの、ああいうふうになりたいなあ」と皆さんを目標にするようになったのではないのでしょうか。そういうふうには皆さんが今宮高校で学んだことや活動したことが先輩たちに受け継がれていくのだと思います。それこそが学校の伝統ではないでしょうか。進む道はさまざまかもしれませんが、今宮高校の伝統の最上層を築いたのだという自信を持ってがんばってください。

1人の教員としては、日本史B・考古学入門・日本文化史・歴史探求・進学講習と2年間皆さんを受け持ち、どの科目でも楽しく授業をさせていただきました。卒業しても、時々、歴史のことを思い出してください。意外にほっとする時間が持てるかもしれませんよ。卒業おめでとう！

Bon Voyage!

5組担任 鈴木 公子

18期の皆さん、卒業おめでとう。サルトルは、人間だけが「実存が本質に先立つ」存在であると説きました。人として生まれるが、どのような人になるのかはあなた自身に任されています。自らの選択と努力で「自らつくるところのもの」になる自由と責任があるのです。あなたは、あなたの「本質」の基礎を、今宮高校の3年間で見つけることができましたか？優しく他人を思いやる人、目標に向かって努力できる人、自ら考え表現することが上手な人が多い18期だったと思います。そんな皆が、高校を卒業しても、豊かな感性と負けない強さと自ら思考する姿勢を持ち続け、芽吹き始めた自分の「本質」をこれからもますます豊かに成長させていくことを期待しています。同時に、あなたの「本質」を支える力を自分以外の人や社会のために発揮できる人、他者と共に明るい未来を構築する人であり続けてください。



ムダって無駄？

6組担任 久次米 真理子

「良い大人と悪い大人を、きちんと区別できる目を養って下さい。良い大人とは、言うまでもなく人生のいつくしみ方を知っている人たちです。悪い大人は、時間、お金、感情、すべてにおいて、けち(!)な人々のことです。若いということは、はっきり言って無駄なことの連続です。けれど、その無駄遣いをしないと良い大人にはならないのです。死にたいくらい悲しい出来事も、後になってみれば、素晴らしき無駄遣いの思い出として、心の内に常備されるのです。……」(山田 詠美「放課後の音符」あとがきより)

悩み多き高校時代から巣立っていく皆さんに、この文章を贈りたいと思います。スクーリングで見た碧い海や、行事や部活で流した汗はもちろんのこと、休み時間や放課後の他愛ないお喋りや、カーテンの隙間から教室にさしこんでいた日射しや、図書室の机の感触や……それら何気ない日常が、悩み多きものだったとしても、いつか、かけがえのないものとして、あなたを支える時もあるかもしれない。決して「あだなり」ではないのです(笑)。そして、そんな日々を共にできたことは喜びでした。卒業、本当におめでとう。

